|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 30年12月14日附属幼稚園　第16号発 行 者　八谷俊一郎 |
| **見事な演技の年中さん**　8日（土）に、初めての試みとして中学校・高校の立派な講堂で、午前中は年中さんの劇の発表会、午後は年長さんのミニ・コンサートを開きました。子どもたちは、初めて入った講堂の広さに驚き、凛とした雰囲気に言葉を失ったようでした。担任は、子どもたちが活躍できるように、声の出し方、動き方などを点検し、広い会場に戸惑いながらも、効果的な活用法を考え、舞台装置や大道具などにいくつもの工夫を凝らしました。これまでと違って、いつでも、直ぐにステージを使って練習ができるというわけにはいかないので、動きや大道具の位置の修正に、大変苦労したようです。　年中さんは、担任の熱い思いをしっかり受け止め、素晴らしい劇に仕上げました。去年は、先生が傍にいてセリフを発していましたが、今年は、短い期間で長いセリフをよく覚えました。先生が傍に居なくても、客席の隅から隅まで聞こえるような大きな声を出し、広いステージを上手に動き、観客を楽しませました。保護者の方は、広い会場に、大変満足されたご様子でした。旧園舎の120人収容の遊戯室と違って、1階だけでも1200人以上収容可能な会場ですから、ご両親はもちろん、祖父母の方、兄弟姉妹の全ての方が来場されても、ゆっくり座席が確保でき、暖房が効いた会場で、寛いで観劇いただきました。しかも、後部からのビデオ撮影も可能でしたから、多くの保護者の方から、「本格的な舞台で演技できる子どもたちは幸せだし、自分達も遊戯室と違ってゆったりできて満足でした」といった声があちこちから聞かれました。　　来年度は、新園舎の遊戯室で実施する計画です。これまでとは違った一味違う劇の発表会や音楽の発表会ができればと思っています。C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年中\劇の発表会\DSC_0091.JPG | C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年長\音楽発表会\DSC_0242.JPGクラスの心を一つにした合唱と合奏　　見てください、子どもたちの歌っている姿を。保護者の皆様は、子どもたちが、体でリズムを取り、口を大きく開け、楽しく歌っている姿をご覧になって、感動されたことでしょう。１部の合唱と鍵盤ハーモニカの演奏、2部は合奏の発表を通して、「喜んで楽器を演奏し、皆で力を合わせる楽しさを感じる」「クラスの友だちと一緒に達成感や満足感を味わう」というミニ・コンサートのねらいを十分に達成できた年長さんでした。鍵盤ハーモニカも、ほぼ全員が演奏できたので、小学校へ進級しても音楽の時間はまず大丈夫です。園の歌　「みんなのたからもの」　　　　　　　　　作詞　松井五郎　　　　　　　　　　　　　　作曲　池上　ケイ風は森から　吹いてくる　声はきらきら　あふれてるいつも坂道　君がいて　どんな笑顔も　嬉しくて青空大好き　木漏れ日大好きいろんな大好き　集めようみんながみんなが　たからもの花はいつでも　咲いている蝶はひらひら　遊んでるいつも優しい　君がいて　どんな笑顔も　眩しくてお絵描き　大好き　お話　大好きいろんな大好き　集めようみんながみんなが　たからもの　　　羽は自由に　羽ばたける　夢はふわふわ　うかんでる　いつも元気な　君がいて　どんな笑顔も　楽しくて　駆けっこ　大好き　泥んこ　大好き　いろんな大好き　集めよう　みんながみんなが　たからもの |